

中 島



2001 歯の祭典
第25回 熊本市歯科医師会親睦大会
(ビアパーティー)



目

次

巻頭言	蔵田 幸一 常務理事	1
2001 歯の祭典		2
母と子のよい歯のコンクール50周年式典		4
平成13年度歯磨き巡回指導(上半期)		5
第25回熊本市歯科医師会親睦大会(ビアパーティー)		8
3市歯科医師会合同協議会		10
三歯会座談会		12
第22回熊本市学校保健会総会・合同研修会		13
スタッフレベルアップセミナー		14
緊急役員支部長会議		16
Study		17
「EBMに基づいた予防法」	—坂口 貴章—	
本日休診 「生命の尊厳」	—岩村 泰行—	22
南部支部旅行		23
新人です よろしくお願ひします		24
スポーツの広場		25
会務報告		26
編集後記		

—表紙のことば—

「歯磨き巡回指導でのひとこま」

児童たちが自分で赤染めをしています。
 私が参加した時は昼食後で、食後の歯磨きを行っていたはずなのに、真っ赤に染まって苦笑いをしている児童も結構いました。
 (T・F)

「盛況裡に終わった 市歯主催の上通りイベント」



蔵田 幸一 常務理事

熊本市歯科医師会では毎年6月の歯の衛生週間時に公衆衛生委員会を中心とした市役所ロビーにおける歯科無料相談、並びに会員診療所における歯科無料健診等を行って参りました。本年度はこれらに加えて初めての試みとして、上通りアーケードにおけるイベントを行いました(前年度までは熊本県歯科医師会が行っていました)。“2001歯の祭典”「あなたはキスに自信がありますか?」というテーマのもと、熊本県歯科衛生士会、熊本市歯科技工士会等の協力を仰いで開催しました。“歯科”に関するアンケート調査では、5000名以上の方々に答えて頂きました(アンケートの内容や集計については後日委員会より報告があると思います)。数だけの判断ですが午前10時から午後4時過ぎまでの間にしては相当なものだと驚いたところです。各コーナーでの質問や相談等も多く市民の“歯科”への関心の高さが伺えました。また人寄せの面では技工士の石膏で作った人形(お土産としてプレゼント)が子供は勿論、お年寄りまで人気がありました。各コーナーとも目玉となるものを駆使しての手作りのイベントでした。こうしたイベントではデンタルファミリーが一致団結して取り組まなければ成功しません。そういう意味では今回のイベントは成功裡に終わったと思っております。また少ない予算で皆さんよくやってくれたと感謝している所です。後日この反省会を行い改善すべきところは改善し、また新たな企画を盛り込んで次年度もまたこの上通りアーケードでのイベントを行うよう計画しております。このイベントに加えてほしいという企画等ありましたら市歯事務局まで御一報下さい。

さて、この上通りアーケードでのイベントは本会主催のものであります。これとは別に本会が各種団体の一員として参加協力しているものに熊本市民健康フェスティバルがあります。本年度も熊本市及び熊本市保健医療専門団体連合会(医専連)によるフェスティバルが10月に開催されます。会員の先生方の中にはまだこのフェスティバルに行ったことがないと言われる方も結構おられます。今年こそはのぞいて頂いて本会も医専連の1つのメンバーとして参加協力し、また各種団体が一致団結してこのフェスティバルを催している様を是非見て頂きたいと思っております。

2001 歯の祭典

—あなたは Kiss に自信がありますか?—

6月3日(日)、歯の衛生週間事業の1つである「2001歯の祭典」が上通りアーケードで開催されました。

歯の衛生に関する正しい知識の普及を図り、歯科疾患の早期発見、早期治療、予防処置の励行を徹底することにより歯の寿命を延ばし、市民の健康保持増進に寄与する事を目的として、毎年、県歯科医師会のイベントとして行われてきましたが、本年は場所を八代市に移して開催されるということで、本年より市歯科医師会の主催で行われました。

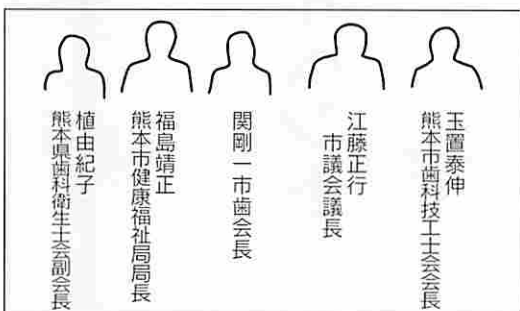
後援として、熊本市、熊本市歯科技工士会、熊本県歯科衛生士会、熊本日日新聞社他放送関係7社、また協賛として、熊本県歯科用品商組合、花王(株)、サンスター(株)他2社、そして上通り商栄会の協力により開催されました。



今年は若い人にももっと歯の大切さをアピールできるようにと「あなたはKISSに自信がありますか?」というちょっとドキッとするようなテーマをつけてみました。

午前10時より開会式が始まり、まず関市歯会長より、歯を大切にすることがいかに全身の健康につながっているか、そして我々歯科医療関係者も市民の健康の為、さらなる努力が必要であるとの主催者挨拶、来賓として三角保之熊本市長(代理:福島靖正熊本市健康福祉局局長)、熊本市市議会より議長江藤正行氏、同じく議員荒本哲美氏、下川寛氏が紹介されました。

三角市長、江藤両氏の来賓挨拶の後、関会長、福島氏、江藤氏、熊本県歯科衛生士会副会長植由紀子氏、熊本市歯科技工士会会長玉置泰伸氏の5名によるテープカットが行われ、「2001歯の



祭典」がスタートしました。

イベントスタートと同時に各コーナーとも、ショッピング途中の家族連れやカップルでにぎわい、相談や展示物を興味深く見学していました。また今年は特にテーマに関係してか、口臭検知器コーナーの人气が高く一日フル回転でした。口臭を感じている人が以外と多く、計測してみても、数値が低く安心した人や、逆に口臭はないと思っていて計測してみると高い数値が出てびっくりする人等でにぎわっていました。もう少し各コーナーとも連絡をとって回ってもらえるようにできればいいかな…とも思われましたが、どのコーナーもスタッフが一所懸命対応していま



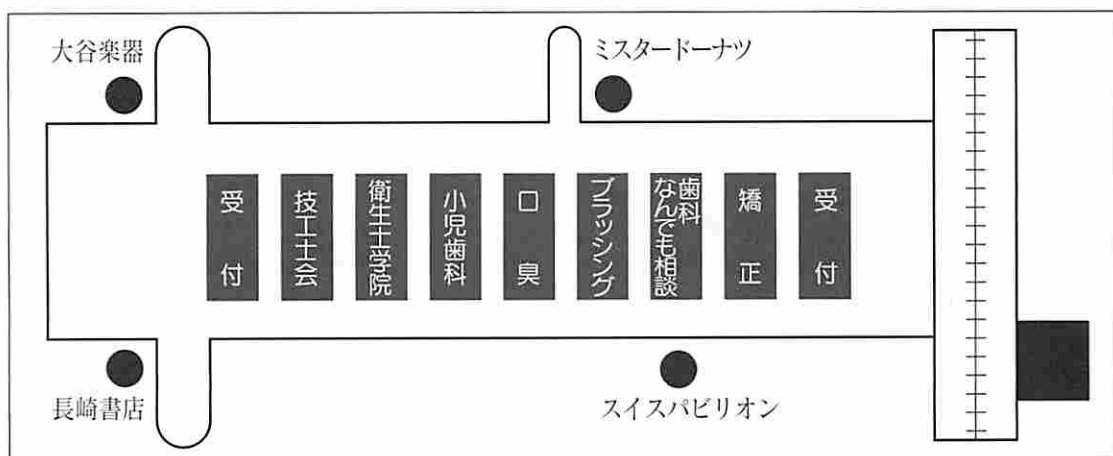
口臭検査は時間がかかりました



ハイ、お口をあけて



学院生の未来は明るい!?



石膏模型大人気でした



位相差顕微鏡でバイキンを見た

した。

また今年は私達委員会のメンバーだけでなく、“かわら版”で募集して参加された先生方にも手伝っていただきました。来年も募集しますので先生方、参加されてはいかがでしょう。

最後になりましたが、当日アンケートに答えていただいた人数は5,291名でした。

(公衆衛生 笹原慎一郎)

2001年 歯の衛生週間

母と子のよい歯のコンクール50周年記念式典



6月9日(土) 午前10時～午後4時まで『母と子の良い歯のコンクール』の表彰、及び50周年記念式典イベントが、熊本市並びに熊本市歯科医師会の主催により、熊本市子ども文化会館にて開催された。

まず、『良い歯のコンクール』の表彰式に先立ち、熊本市健康福祉局福島靖正局長と関会長の挨拶が行われた。

今年は、熊本市管轄の各保健福祉センターで行われた、3才児歯科健診をもとに6168組の中から50組を予備審査し、10組を選出した。さらに、優秀賞2組、歯の衛生週間賞3組良い歯のコンクール賞5組を決定し表彰した。

熊本市の代表には水本知加子さん、みちるちゃん親子、笹本好里子さん、知沙ちゃん親子が輝いた。さらに、水本さん親子は熊本県の代表に選出された。その他イベントとして4階ステージにて『良い歯のピエロショー』が午前、午後2回公演され、子供たちも大喜びだった。3階では食生活改善推進委員の方々による噛みごたえのある食品の展示、アドバイスなど行っていた。又、幼児、学童向けのコンピューターの設備や体験工作コーナーもあった。



2階では、公衆衛生委員が無料歯科相談、フッ素塗布(希望者)、咬合分析器による咬合診断、位相差顕微鏡を用いた口腔清掃の指導、口腔清掃の指導グッズの展示など行った。相談者、フッ素塗布希望者も多く、たいへん盛況であった。

従来、『母と子の良い歯のコンクール』は歯科医師会館で熊本市の代表の選考、表彰を行っていたが、今回50周年記念ということで熊本市子ども文化会館に移してのイベントだったため多くの親子の参加を得ることができた。今後、公共の場を利用して『母と子の良い歯のコンクール』を展開する事が有効であろう。



(公衆衛生 原田教二)

平成13年度歯磨き巡回指導(歯と口の健康教室)実施

平成13年度歯磨き巡回指導(歯と口の健康教室)が5月16日より7月11日まで5回5校にわたり実施されました。

歯科保健に対する関心は、歯科医学の進歩発展、歯科保健衛生思想の普及向上に伴い、年々高まってきており、その結果としてむし歯の減少傾向が見られるものの、いまだに永久歯のむし歯発生率は高い状況にあります。

そこで、歯科疾患の発病が生活環境並びに生活習慣と密接に関連していることを重視し、歯及び口腔に関する保健指導を行って歯磨きの定着化を図るために今年も歯磨き巡回指導を行いました。

このような趣旨のもとに巡回指導は、熊本市歯科医師会主催、熊本市教育委員会協力により平成13年5月～7月(前半)、9月～11月(後半)に取り組みれます。対象としては小学校の3年生1～2学級または第75条学級1学級で教室など指導ができる場所にて行われることとなっています。指導内容としては、歯垢染め出し液を使用して歯磨き指導をします。(所要時間45分)

指導時の準備物	(1)生徒各自持参する物 ハブラシ、タオル、洗濯バサミ2個、体育服など汚れてもよい服装、ちり紙、鏡(歯の裏も観察するので、できれば2個)、コップのついた水筒、赤鉛筆1本 (2)学校で用意する物 歯鏡(1学級分)
指導者	熊本市歯科医師会から1名、熊本県歯科衛生士会から2名他

その他第75条学級の実施については保護者の同席をお願いしました。

(注:第75条学級とは、知的障害、情緒障害などを有する児童の所属する学級です。)

〔報告〕

第1校目 若葉小学校

5月16日(水) 5時限目 3年1クラス

学校歯科医 澤木孝明先生

指導 増田・山口歯科衛生士



第2校目 城東小学校

6月13日(水) 5時限目 3年1クラス

知的障害学級1クラス、情緒障害学級1クラス

学校歯科医 中川順一先生

指導 高柳・一門・向江歯科衛生士





第3校目 御幸小学校

6月20日(水) 5時限目 3年1クラス

学校歯科医 下山純生先生

(代行 下山文江先生)

指導 一門、向江歯科衛生士



第4校目 池上小学校

6月27日(水) 5時限目 3年1クラス

学校歯科医 古川猛士先生

指導 一門、向江歯科衛生士

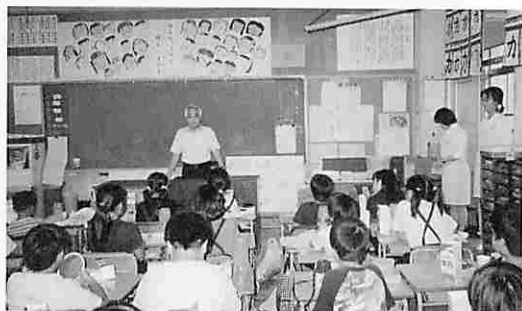


第5校目 中島小学校

7月11日(水) 5時限目 3年1クラス

学校歯科医 赤城公德先生

指導 一門、豆塚歯科衛生士



今年度から歯磨き巡回指導は、昨年までの集団指導からクラス単位の指導、実習にかえ、歯垢染め出し液を使用し、日頃の歯磨きがいかに不十分かを認識させ、実際効果のあがるよう歯磨きの方法を指導しています。子供たちも赤く染まった磨き残しの部分があるのにおどろいている様子でした。

巡回担当校における学校歯科医の先生方には積極的に参加、協力をいただきありがとうございました。これを機に毎年継続した指導をお願い致します。

また各学校において、学校保健会の活動がなされていない状況からこの度の巡回指導を機に三師会を中心とした学校保健会のたちあげの機会としていただきたいと思います。

今回第75条学級(特殊学級)をはじめて組みいれましたが、充分な手ごたえを感じております。今後とも勉強させていただきながら、より効果のある巡回指導にしていきたいと思ひます。

尚、後半は9月から11月にかけて8校の巡回指導を予定しております。学校歯科医の先生方御協力の程御願い申し上げます。

稿を終了するにあたり

熊本市教育委員会(健康教育課)、熊本県歯科衛生士会はもちろん各担当校においては、学校歯科医の先生方はじめ、校長先生、養護教諭、担任の先生方、その他関係者の方々の御協力に心より感謝致します。

今回の歯磨き巡回指導で、クラス単位指導の効果や、指導内容等について御感想、御意見等、子供たち、保護者から頂きましたのであわせて御紹介いたします。

保護者の感想

- 歯みがきまで目が行き届かず、いつも子供まかせにしている所がありますので、ちょくちょく歯のチェックをしていきたいと思えます。
- 親として、ちょっと反省です。
- 夜遅くなってから歯みがきをする事が多かったりすると、つい自分ではちょっとしかみがいてない様子なのでチェックしていました。もう3年生なのできちんと最後までみがけるようになってほしいと思えます。
- ブラッシングも子供まかせで、親が点検してやっていないので、もう少し、ていねいにみがくように指導してあげたいと思いました。
- 夜の歯みがきでは糸ようじも使ってやっていますが、親子で歯が弱いので続けてがんばりたいと思えます。
- 今日ならったことをまい日つづけて、ずっときれいな歯でいられるといいですね。がんばってはみがきしてね。
- 歯は、一生つかうものなので、よくみがいて大切にしましょう。

子どもたちの感想

- わたしははみがきを毎日しています。でも、ジュースにさとうがたくさんはいつてゐることは知りませんでした。さとうのはいつてゐるのは、たくさんあるのが分かりました。前歯でも、うがいをしてもあんまりとれません。でも、そのあとにはみがきでとれました。歯ぶらしがピンクになりました。でも、はみがきをしないとむしばになることが分かりました。ありがとうございました。
- しかえいせいしの先生、3の1にきてくださってありがとうございました。はみがきのみがきかたおしえてくれてありがとうございました。あかいのをつけてしたのは、はがちょっとあかくなりました。たてみがきとかをしたらよくとれました。さいごには、ぜんぶとれました。しかえいせいしの先生ありがとうございました。
- ハブラシのしどうありがとうございました。家に帰って赤くなったところをハブラシで、そこをきれいにみがきました。自分の歯を見るとそこがよくよごれがたくさんありました。それを見てびっくりしました。これからもそこをしっかりとハブラシでのごしします。
- きょねんは、赤くなったところがいっぱいありましたが、ことは赤いところがへつていたので、よかったなと思えました。でも、まえばのところは、ことしもよごれていました。おしえてもらったようにていねいにみがいて、きれいな歯になるように、はみがきをがんばります。
- 赤い色がいっぱいあったからかなしいです。あしたからいっぱいはみがきしたいです。
- うらがわは、ちっともみがいてなかった。はみがきをきれいにしなかったことがわかった。赤いところがたくさんあった。

(学校歯科 澤木孝明)

第25回 熊本市歯科

夏だ！ビー 元気

第25回熊本市歯科医師会親睦大会「夏だ、
(土)午後7時から、交通センターホ
最初に、関剛一会長に「何かと暗い話題の
雨空とともに、吹き飛ばしましょう。」との
として、堤直文県歯会長、吉田公典県専務
さを忘れて、おおいに楽しんで下さい。」と
先生の乾杯の御発声の後、開宴となりました
浴衣姿のコンパニオン嬢も登場し、夏気分が
ールが導入され、大変好評だったようで用意
くなっておりました。おいしい料理に舌つづ
のビンゴ大会となりました。景品が当たり大
とはならず、くやしがる先生等、様々でした
一に期待して下さい。

おおいに盛り上がり、なごりおしくはあり
に一本締めにて、しめていただきました。

なお、熊本県歯科医師会、交通センターホ
ました。来年の親睦大会も多数の先生方の御参



歯科医師会親睦大会

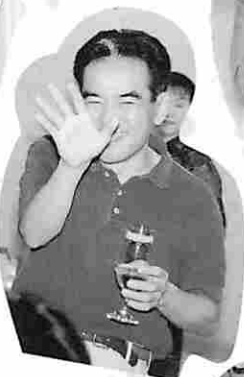
ルだ！ に乾杯！！

「ルだ、元気に乾杯。」が、去る6月23日
開行しました。

多い歯科界であるが、皆さんの元気で、この梅
あいさつをしていただきました。当日は来賓
理事をお招きしており、堤先生から「日頃のう
お言葉をいただきました。続いて、山室紀雄
3人のジャズバンドの方々の素敵な演奏の中
一気に盛り上がりました。今年から初めて生ビ
ておりました75リットルがまたたくまに、な
をうち、歓談の輪も広がったところで、恒例
遊びの先生、リーチまではいくものの、ビンゴ
当たらなかった先生は、次回の新年パーティ

ましたが、お開きの時間となり、菅原洋副会長
ルから、御樽をいただき誠に有り難うござい
加を期待しております。

(厚生 瀬井知己)



3市歯科医師会合同協議会開催

(福岡・鹿児島・熊本)



熊本市 関会長



福岡市 秋山会長



鹿児島市 森原会長

福岡、鹿児島、熊本各市の歯科医師会による3市歯科医師会合同協議会が、6月16日(土)県歯会館にて行われた。

福岡市歯科医師会からは、秋山治夫会長以下7名、鹿児島市歯科医師会からは、森原久樹会長以下14名、熊本市歯科医師会からは、関剛一会長以下13名の出席があった。

まず本会の関会長が挨拶に立ち、昨年の九州八市での協議会で、鹿児島市歯から、福・熊の協議会への参加要請があり、今回の3市合同協議会開催となった事の説明があり、医業環境の厳しい中、受診率向上への様々な意見の交換、さらには2002年の医療保険の抜本改正へ向けて意義ある話し合いを行いたい旨の開会挨拶のち、協議に入った。

受診率向上への各市の取り組みについて、最初に熊本市歯から、各担当理事が、各委員会の取り組みを紹介、続いて福岡、鹿児島の各会長・理事から各歯科医師会の取り組みが紹介された。

福岡市歯からは、「待ちの時代から、こちらから出て行く診療体制」という観点から、以下のような取り組みが紹介された。

- ・訪問診療での有病者歯科治療時の九大附属病院との連携

- ・新聞等を使った啓発運動
 - ・歯科健診施設の設置と、その後の歯科受診アンケートの実施(80%が健診後、歯科受診)
 - ・大学生への歯科健診の実施
- 続いて鹿児島市歯から次のような取り組みが紹介された。
- ・各職域からのモニター制度の導入
 - ・会員の人生補償事業、健康推進事業、家族だんらん事業
 - ・盲学校、ろう学校での健診



その後、3市間の自由協議に入り、医療苦情への対応、か初診の算定状況、介護保険への歯科のかかわり状況、学校健診後のケア、診療時間の延長などについてさかんな協議が行われた。



出席者名簿

福岡市歯科医師会 [7名]	秋山 治夫(会長) 山本 達雄(常務理事) 水ノ江文生(副会長) 小川 孝二(常務理事) 永田 正典(専務理事) 柏木伸一郎(公衆衛生理事) 熊澤 榮三(常務理事)
鹿児島市歯科医師会 [14名]	森原 久樹(会長) 宮ノ下尚朗(学校歯科理事) 浜崎 榮七(副会長) 鬼塚 一徳(厚生理事) 飯野 和男(副会長) 堀川 清一(社会保険理事) 下田平幸一(専務理事) 榎木 隆一(医療管理理事) 高田 俊彦(常務理事) 橘木 勲(監事) 山内 和久(学術理事) 園田 茂樹(監事) 戸澤 隆志(公衆衛生理事) 徳田 彰(事務長)
熊本市歯科医師会 [13名]	関 剛一(会長) 稲葉 逸郎(社会保険理事) 菅原 洋(副会長) 澤木 孝明(学校歯科理事) 古賀 明(専務理事) 古川 猛士(広報理事) 矢毛石 豊(常務理事) 与儀 実彦(公衆衛生理事) 蔵田 幸一(常務理事) 宇都宮啓一(監事) 藤波 好文(医療管理理事) 本田 亘(監事) 斉藤 修身(厚生理事)

(広報 前川研二)

三 歯 会 座 談 会

－ 受 診 率 向 上 に む け て －

5月17日(木)午後7時30分より県歯会館にて技工士会、衛生士会の役員を招いて三歯会が行われました。当日は技工士会より5名、衛生士会より7名の出席をいただき、歯科医師会からは医療管理委員会のメンバーに加えて公衆衛生、学校歯科、広報の各委員会より2名ずつ参加して総勢25名で活発な議論がかわされました。

医療管理委員会尾上委員長の開会の挨拶に続いて、歯科医師会より藤波理事、技工士会より玉置会長、衛生士会より植副会長からそれぞれの現状をふまえた挨拶があった後、本日の議題である「受診率アップ」について討議が行われました。患者数減による厳しさは年々増すばかりでなかなか明るい見通しの立たない中、各会より様々な意見が出されました。



まず技工士会より、やはりほとんどの患者はその医院のドクターの技術や人柄に惹かれて来院するわけだから、自分を知ってもらうために積極的に地域社会とのかかわりを持ってほしい。地域活動に積極的に参加してほしい(たとえばPTA、お祭り、老人会、ボランティアなど)。その際歯科医師であるという変なプライドを捨ててほしいという様な意見が出されました。また、患者に石膏模型を渡して自分の口の中に対する関心を高めたらどうかというようなユニークな意見も聞かれました。

次に衛生士会の方からは、歯の衛生週間に対する協力の準備を行っていること、40歳以上の在宅寝たきりの方に対する訪問歯科健診と口腔ケアのサービスが始まった事、今年から変更になった熊本市の在宅事業に対する説明等がありました。その後、アピールの方法としてライフステージ別に考えたかどうか(例えば若い人にはITを積極的に使うなど)という意見に対しては、数名の方から賛否両論意見が交わされました。また、我々も最近特に感じる事です、患者の権利意識がかなり高まっているので、インフォームドコンセントを今まで以上に行う必要があるという臨床現場からの率直な感想も出ました。技工士会からも出ましたが、ボランティア活動などに積極的に関わって、自分を知ってもらう方がよいという意見もありました。



その後歯科医師会の方から数名、それらの意見に対する意見や感想、体験談などが出された後、大まかな方向性が一致した所で議題に対する意見交換は終了しました。

引き続き、議題以外の意見や要望がいくつか出されましたので列挙しておきます。

- ・補綴物維持管理中の再製は歯科医院の方で料金を負担してほしい
- ・医院によっては残業代をつけてもらえない所がある

- ・レベル向上のため、講習会等に積極的にドクターの方から送り出してほしい
- ・勉強してもそれを生かせる場所や機会が少ない
- ・組織率の低下
- ・ある所での行きたくない歯科医院のアンケート結果

一本治療しに行くと全部治療される
予約制にもかかわらず待たせる
院内の雰囲気が良くない
聞きたい事が聞けない



院内技工士が減りラボが増えてきたため
情報交換がうまくいかない
昼休みに診療がずれこむ(多分スタッフからの意見)

最後に尾上委員長から、阿蘇郡が行った調査では、歯がしっかり残っている人全ての医療費は歯の無い人に比べて3分の1で済んでいるというはっきりと有意差のある結果が出ているので、そのあたりをもっとアピールするといいいのではないかという意見が出され、また、藤波理事より歯が残っていると、もちろん患者さんのためになるのみでなく、我々も治療の機会が増えるのでお互いメリットが高いのではないかという意見が出されたところで予定の時間となり、古川広報担当理事のメの挨拶で盛会のうちに終了いたしました。例年以上に活発な意見が交わされた三歯会でした。年々厳しくなる歯科界の中で、少しでも歯科界の底上げができるように、これまで以上に綿密な情報交換と、相互協力の必要性を感じました。

(医療管理 宮本格尚)

《第22回 熊本市学校保健会総会・合同研修会》

6月26日(火)午後1時より、熊本市産業文化会館に於いて学校保健会総会並びに学校保健合同研修会が開催されました。

総会の席上勤続15年の学校保健功労者の表彰が行われ、熊本市歯科医師会より真鍋嘉之先生(東野中学校)、有吉洋先生(西原中学校)、吉良裕明先生(銭塘小学校)、西田宗剛先生(麻生田小学校)の4名の先生が表彰されました。

総会に続いて、「自ら進んで健康生活を実践する児童生徒の育成」―豊かな心を育てる健康生活の在り方を求めて―を主題として、熊本大学エイズ学研究センター長 原田信志氏により「性行為感染症とわたしたち」という演題で、エイズ



の最近の動向及びエイズ教育を含む性感染症対策について、効果的に進めるために学校・家庭・地域社会の連携が大切と講演されました。

(学校歯科 津野田 稔)

在宅訪問歯科の診療における口腔ケアと補助

スタッフレベルアップセミナー開催



7月14日(土)午後2時30分より県歯会館3階にて上記セミナーが開催された。各医院より23名の歯科医師・歯科衛生士・歯科助手が参加し、熊本市歯科医師会在宅訪問歯科主任衛生士の本田志保子氏を講師に迎えて、講義及び実習を行った。

まず、関剛一熊本市歯科医師会会長の挨拶の後、研修室で本田講師による講義が行われた。要旨は、

- 要介護者の口腔ケアの必要性…誤嚥性肺炎、歯周疾患、カリエス等の防止。入浴と同程度の爽快感を与える。
- 歯科衛生士の特性…ヘルパーとの差をいかにしてつけるか(プロとしての知識、技術を活用)
- 老人の特性…同じ目線でゆっくり、低音で繰り返し話しかける。
- ケアの進め方…まずコミュニケーションをとることを心掛ける。要介護者、介護者の精神状態を把握する。急ぎすぎずにいつも笑顔で接する。

などの口腔ケアについての講義を終えた。

次に、5人の在宅訪問協力の歯科衛生士を加えて3人1組となって実習に移った。各自の実習に入る前に、指導衛生士による要介護者の口腔ケアを行う寸劇が演じられると、参加者は大変興味深く見入っていた。

実習の内容は、3人がそれぞれ要介護者、アシスタント、術者に分かれ、総ての役を全員が行った。

1. キシロカインゼリーを片側の口唇、舌、口蓋、頬粘膜に塗布する。
2. 患側の頬から下顎にかけてガムテープを貼り、片麻痺を再現する。
3. クッキーを食べて口腔内の観察をする。
4. 歯ブラシ、巻綿子、トゥースエッセ等で口腔内清掃をする。
5. 口蓋にオブラートを貼ることにより、痰を再現し、これを除去する。

以上のような実習を、講師のわかりやすい指導のもと、皆真剣に取り組んでいたようである。

その後、受講生全員に本田講師より受講証が手渡されセミナーを終了した。



最後に、今回のセミナーに参加しての感想をアンケート用紙に記入してもらった。

内容は、

- いつも院内で行う業務と違ってなかなか経験できない実習を体験できて大変有意義であった。
- 自分がケアされる側になって患者の気持ちが少しわかったような気がする。
- 痰を取る実習で舌根部を押して除去するのがとても苦勞した。
- 講師による劇で、訪問先の雰囲気がよく表現できていてとてもおもしろく、実習に入りやすかった。

等、多数意見が述べられていた。

殆どの受講生が、もっと経験を積んで口腔ケアのプロになりたいとの希望であった。

これからも、このようなセミナーを継続しスタッフのレベルアップを計る事が必要だと思いますので、次回からの参加よろしく御願います。



(医療管理 清川恵治)



中原候補を再度国会へ

— 緊急役員支部長会議 —



7月23日(月)参議院選挙を目前に控えて表記会議が行われた。まず会長より来年の医療法抜本改正にむけて、我々の職域代表の力が必要である。中原そう個人の選挙ではなく、職域団体の選挙と考えたい。いよいよ投票まであと1週間と迫ったが、熊本市ではまだ票固めが不十分である。もう一息頑張ってほしい主旨の挨拶がなされた。続いて副会長より理事の先生は各委員会へ、支部長の先生は各支部の先生方へ連絡をとってもらいたい主旨のお願いがなされた。専務より、我々が日常診療を続けていけるのもこれまで培われた先人のおかげである。この生活を少なくとも維持して後輩へつなげるためにも職域

の代表を国会へ送りたい。

いろんな主義主張はあるだろうが、先人のこと、後輩のことを考え、自分の選んだ職業を守ることを考えてもらいたい。

なお、支部長といえば、各郡市の会長さんと考えてもらってもいいが、その人が後援会紹介者数「0」という人もいる。これに関しては大いに遺憾と思うという要旨の説明がなされた。

つづいて不在者投票の案内があり、大川東部3支部長より各投票所の駐車場の有無について質問がなされ、さっそく確認の上FAXにて会員に連絡するという事になった。

(広報 古川猛士)

EBM に基づいたう蝕予防法

熊本市 坂口 貴章

我が国においては、従来、歯科疾患は個人的な問題として扱われてきた。

すなわち、歯科疾患を健康問題の一環としてとらえる意識が低く、社会システムとして予防を図っていく姿勢が希薄であった。

しかしながら、歯科疾患は、有病率が極めて高いことや生活の質に及ぼす影響が高く、社会的な問題であること、全身の健康状態と密接に関連している可能性があることなどから、その対応についての責任を個人にだけ求めるべきものではなく、社会的なレベルでの取り組みが要請されている。

口腔領域の2大疾患である「う蝕」と「歯周疾患」に対する予防対策については、国内外の多くの調査研究により、予防が十分可能であることが明らかになってきている。

特に、う蝕に関しては、その科学的アプローチにより、子供達の罹患率の劇的減少と軽症化、高齢者の根面う蝕など、疾病の量的・質的变化が世界各国で報告され、すべての人々が健康になる社会的基盤が確立されているが、我が国においては未だ不十分といえる。WHOヘルス・プロモーション健康宣言では、「環境問題と健康問題の両面が中核的で最も優先性の高いものとして位置づけられ、日々の政策課題のなかで最も大きな関心が示されるべき」と述べられており、これからの歯科保健医療にかかるベクトルは、疾病対応型の歯科保健医療から早期予防(1次予防)のみでなく、あらゆる領域の機関、関係者と連動し、疾患の発生を予防する環境づくり(0次予防)の推進への方向転換が望まれている。

又、近年、保健・医療の分野ではEBM(Evidence Based Medicine;科学的根拠に基づいた医療)が実施されるべきであることが強調されています。これは専門家の経験や勘に基づいた医療では

なく、世界中の適切な方法で行われた最新の科学論文、研究結果から最も科学的に信頼できる保健・医療が提供されるべきであるというものです。表1は予防的ヘルスケアに関するカナディアン・タクス・フォース^{註1)}によるEBMに基づいたう蝕予防方法の効果、科学的証拠のレベル、推奨度の評価を表したものです。日本ではう蝕予防といえば歯ブラシを使った歯磨きの励行が勧められていますが、この基準によって評価した結果からは「歯ブラシやフロスを使った毎日の歯磨き」に対する推奨度はう蝕予防に対してはA～DのC(Poor evidence:科学的根拠に乏しい)という評価を受けています。

また、う蝕予防を誰が実施主体となって、どのような方法を用いて実施するかによってもその効果はかなり違ってきます(表2)。この評価でも個人による口腔清掃はう蝕予防に無効であることが示されています。

スウェーデンのブラッター教授が唱えるように、基盤として全ての人に供給できる公衆衛生(パブリック・ヘルス)を実施し、パブリック・ヘルスだけではフォローできない地域にターゲットをおいた歯科保健施策を行い、さらにそれでも罹患する危険性のあるハイリスクの個人に対する保健予防対策が実施されるべきでしょう。

フッ素を用いたう蝕予防法を実施する場合でも、誰を対象にして、どこが(あるいは誰が)実施主体となって、どのような方法で行うかによってその効果は違ってきます。う蝕予防法を選択する上でここに挙げた表が参考になれば幸いです。

註)カナディアン・タスク・フォース

定期健診がカナダ人の健康をいかに向上させ、守るかを決定するため、カナダに住む人々の定期的な健康評価の生涯プログラムのプランを推奨するために1976年にカナダ10州の保健省次官会議において発足した組織。予防法が本当に

推奨されるべきか否かを判定するために科学的証拠に重点をおいた方法論を作りあげることに関心している。その方法論は臨床予防法、公衆衛生施策のガイドラインの基礎として国際的に認められている。

[表1]

カナディアン・タスク・フォースによるEBMに基づいた予防法評価 (1995年改訂版)

「エビデンスの質」と「推奨の等級」は以下のように定義されています。

【エビデンスの質】

- I :少なくとも一つ以上の適正な無作為対照試験(RCT: randomized controlled trial)によって証拠が得られている。
- II-1:無作為ではないが、適正な実験デザインのもとに行われた対照試験によって証拠が得られている。
- II-2:1箇所以上の施設や研究グループによる適正なデザインのもとに行われたコホート研究または症例対照試験によって証拠が得られている。
- II-3:介入あるいは非介入による時間または地区間の比較研究によって証拠が得られている。
- III :臨床経験に基づく権威者の意見、記述研究や専門委員会の報告書によるもの。

【推奨の等級】

- A :推奨を支持するのにPHE*が有効であるとみなす最良な証拠がある。
- B :推奨を支持するのにPHEが有効であるとみなす中等度の良好な証拠がある。
- C :PHEによる有効性の条件を含む含まないに関わらず証拠に乏しい。しかしその他の理由から推奨される余地がある。
- D :推奨を支持するのにPHEが有効であるとする以外の中等度の良好な証拠がある。
- E :推奨を支持するのにPHEが有効であるとする以外の最良な証拠がある。

*PHE(Periodic Health Examination):定期的に第一次予防と第二次予防、すなわち疾病の発生リスクを明らかにし、無症状の早期の段階でその疾病の診断を行う活動組織。

予防戦略	効果	証拠のレベル	推奨度
水道水フッ素化	う蝕有病者率において20%～40%のう蝕予防効果がある。	Ⅱ-1: 菌冠う蝕予防; 無作為化ではないが適正にデザインされた地域での比較対照試験がある。	A: 水道水フッ素化は菌冠、菌根う蝕予防に最も効果があり、全ての人が平等に受けられ、効率的であるという科学的証拠が十分ある。
毎日のフッ素補助剤(上水道のフッ素濃度が0.3ppm以下の地域に限る)	子供におけるう蝕有病者率の減少は水道水フッ素化の場合と同等である。毎日子供に錠剤を与えるという両親のコンプライアンス(承諾してそれに従って実行すること)は乏しい。	Ⅱ-1: 無作為化ではない比較対照試験がある。カナダ歯科医師会によって承認された新しい低用量の推奨は臨床試験に含まれていない。	A: 適正な量が注意深く与えられれば推奨すべき科学的証拠が十分ある。しかし過量投与は近年増加している歯牙フッ素症の原因となる。
専門家による酸性フッ素リン酸ゲルなどのフッ化物局所応用	この方法は労力がかかり高価な方法なので、上水道フッ素化地区、非フッ素化地区にかかわらず地域のほとんどの患者に対して有効ではなく、効率的でもない。選択的に用いれば効果的である。	I: 菌冠う蝕予防: かつてのう蝕有病者率が高い時期において、主に子供と思春期のものを含む無作為化比較対照試験がある。 Ⅲ: 放射線治療や化学療法による唾液分泌減少に起因する菌根う蝕や多数菌う蝕の予防: 専門家の意見。	A: う蝕活動性が非常に高い人、ハイリスクの人に対して推奨される科学的証拠が十分ある。なぜならこのような人たちのう蝕はかつてのう蝕有病者率が高い時期における一般集団のう蝕と類似しているため。 C: 一般集団において定期的歯科健診で行う場合は証拠に乏しい。しかし、他の理由から個別患者には推奨されるかもしれない。
専門家によるフッ化物局所応用前の口腔清掃	口腔清掃をしてもしなくてもう蝕有病者率は同じである。	I: 無作為化比較対照試験がある。	E: そのような口腔清掃は定期的歯科健診から除外すべきであるという最良の証拠がある。
フッ化物洗口法(0.20% NaF週1回法、0.05% NaF毎日法)	統計学的、臨床的にう蝕有病者率が有意に減少することが過去に報告されている。しかしう	I: 小学校児童を対象とした古い無作為化比較対照試験ならびに最近の無作為化比較対照	A: う蝕活動性の高いあるいはハイリスクに対しての利用には最良の証拠がある。

	蝕有病者率が減少している時代においてほとんどの子供達にこの方法が有効かどうかは疑わしい。	試験がある。 Ⅲ：最近の薬局で購入して家庭で実施するフッ化物洗口の効果については十分評価されていない。	C：一般的な集団に対しての利用に対する効果の証拠は乏しい。しかし他の理由で個別患者に対しての利用は推奨されるかもしれない。 E：薬局で購入して家庭で実施するフッ化物洗口の効果を否定する最良の証拠がある。
個人で使うフッ化物含有歯磨剤	毎日の使用で統計学的に有意な蝕有病者率の減少が認められる。約90%の市販歯磨剤がフッ化物を含んでいるので、この方法は個人利用できるフッ素源として重要である。	I：古い無作為化比較対照試験(歯冠う蝕)と最近の歯根う蝕の比較対照試験がある。	A：規則的な口腔衛生の一部としてフッ化物歯磨剤を毎日使うべきである。小さな子供は過量の歯磨剤を飲み込まないような監視が必要。
歯ブラシとフロスによる毎日の歯垢除去	フッ素を含まない歯磨剤による毎日の歯磨きとフロスではう蝕予防の効果はないが、それらは良好な口腔衛生の一部であり歯肉炎を予防するのに役立つ。	Ⅲ：専門家の意見と記述研究による。 Ⅱ-1：低年齢児に限った研究による証拠がある。	C：う蝕を予防するという科学的証拠に乏しい。しかしフッ素含有歯磨剤を用いたブラッシングは不可欠であり、推奨度Aのう蝕予防効果がある。
定期歯科健診での口腔清掃	伝統的な口腔清掃はう蝕予防には有効ではないが着色や歯石除去の目的で行われる。個人による毎日の口腔清掃(歯磨きとフロス)は着色と歯石形成を予防する。	I：無作為化比較対照試験がある。その中にはフッ化物歯磨剤の使用も含まれる。	C：定期検診時の口腔清掃がう蝕予防に有効であるという証拠は乏しい。しかしその他の理由で患者個人に推奨されるかもしれない。
シーラント	選択的に用いられれば小窩裂溝う蝕には統計学的にも臨床的にも有意なう蝕予防効果がある。	I：無作為化比較対照試験がある。	A：ハイリスクの子供において永久歯臼歯萌出後3年以内の歯に選択的に用いると効果的であるという最良な証拠がある。

カウンセリング:う蝕を引き起こすような食物の摂取を控える。	初期にはそのような証拠があるが、最近のデータでは砂糖の食餌療法はう蝕罹患に大きな影響を与えない。	Ⅱ-1:1施設における一つの試験がある。 Ⅱ-2:最近のいくつかのコホート研究がある。	C:一般集団において食餌の変化をおこすような効果があるという証拠あるいは食餌変化を誘発するような歯科のカウンセリングの効果を示す証拠に乏しい。しかしハイリスクの人や哺乳瓶う蝕を予防するために幼児の食餌指導をすることは臨床的には賢明なことである。
カウンセリング:夜間ならびに長時間の(水以外の液体を入れた)哺乳瓶を与えることを控える。	糖質を含んだ飲料を哺乳瓶で長時間与えることは哺乳瓶う蝕の最も大きな原因である。しかし親に対するこういった習慣を改めるようなカウンセリングが効果的であるかどうかは評価されていない。	Ⅱ-2:症例対照研究がある。	C:う蝕予防のために親に対してこのような摂食習慣を改めるようなカウンセリングが推奨される。

[表2] 家庭、歯科医院および地域社会におけるう蝕予防計画の比較

予防計画の場所	実施形態	費用	う蝕予防の有効性の証明
家庭	口腔清掃 フッ化物歯磨剤 フッ化物洗口 食餌の改善	中等度 安価 中等度 安価	無効 ややよい よい 無効
歯科医院	口腔清掃(1~2回年) 口腔清掃(隔週) フッ素塗布 シーラント 食事の改善	高価 高価 高価 高価 高価	無効 大変よい よい よい 無効
地域社会 学校 公共団体	口腔清掃(時々) 口腔清掃(毎日) 水道水フッ素化 フッ化物洗口 シーラント 食の改善	中等度 高価 安価 安価 高価 未知	全く無効 無効 有効 よい よい 未知

(出典: E.Newbrun, Cariology 1978より改変)

本日休診

生命の尊厳

岩村 泰行



私は今ここにいます。私は突然ここに現れたのであろうか？何億年もの昔、地球が出来てその地球に生物が発生して以来のことである。私の年齢は何億歳であろう。周囲を見ると又驚いた。私と同じ様な姿形をしたものがいるではないか。海外旅行で海の彼方、いや空の彼方で空港に降り立ってみると、言葉こそ違え両足で立っているものをみた。実に不思議である。ナーンだ当り前のことではないか。然し、考えてみると私は時間の縦の線と地球の平面の横への広がりとの接点にることになる。花も鳥も犬も私と一緒にいる。何だか突然嬉しくなった。生命の尊厳である。或る日2人は愛し合い結ばれた。お目出とう。なぜお目出たいのか。相手の異性も又何億年の時を経て生きている。2人が一緒になったことは誠に御縁としか云いようがない。やがて子供が出来、孫が出来、子々孫々、その命は受け継がれていくであろう。2人の結婚はその接点であり、未来に向かっての出発点であり、発展していくであろう。誠にとお目出たい限りである。

蜜を求めて花から花へ蝶は舞い蜂は飛び交い、鳥は木から木へ森から森へ、生命の保持のために行き来している。これ等を求めて小動物は昆虫を、小動物は大きな動物の餌食に、これらの排泄物又は屍は植物の栄養源に、草木の枯葉は大地を肥やし、水を貯え、川は流れ海に注ぎ、雲となりやがて雨となって再び大地を潤し……。自然のサイクルで生物は生きている。洪水を防ぐために河川の両岸はコンクリートで固められ、堰が出来て魚は遡ることが出来ない。川岸に植物があってこれを喰べる昆虫、小動物、魚とここにもサイクルがある。大自然のサイクルと自然淘汰が繰り返されている。これを人間の手によって壊されている。このお返しはやがて人類にも及んでくるであろう。

自由とは不自由なものである。思うままに自由な行動が出来るのか。いや、一定の法則の元に一定の規律のもとにしか自由はない。お互いが勝手気儘な行動をしたらこの世はどうなるで

あろう。人には3つの慾がある。食欲、性欲、名誉慾、このどれをとっても勝手思うようにはならない。平等も又然り。一見皆平等のようにみえ、又主張もする。然し、男は男であり、女は女である。貧乏は富に変えられ、富はいつか又貧乏になる。栄枯盛衰の習いである。

戦争反対、戦争反対、あんな悲惨なことは2度と繰り返すな。誠に然りである。然し、果たしてこの世から戦争を無くすことが出来るのか。地球は平板でなく円く北あり南あり、空から眺めてみると日本は山ばかり、僅かな平地にしがみついて皆生きている。この狭い国土に1億2000万の人口をかかえて生きている。資源も多くない。生きるためには土地と資源が必要である。かつて日本は東洋にこれを求めようとした。出来れば皆仲良く一緒に共に栄えんことを希って。然し乍ら、これを心良しとしない一部のものにより資源の供給を止められようとした。即ち経済封鎖である。これを排除しようとして日本は立ち上がった。然し結果は負けたのである。

平和はお互い話し合い、外交によってのみなされるであろう。日本は原材料を輸入しその製品を買って貰う、商業・工業立国であろう。そのためには平和外交しかない。又前述のように、人間に3つの慾と感情があればこれも仲々難しい。経済大国、長寿大国とのぼせ上がっていると、何時かは又反感を呼び日本は孤立化する。「太平の夢を覚ます蒸気船、たった4杯で夜も眠られず」かつて林子平が言っていたようなことが、いつか又その日がやってくるであろう。いや来てはならない。健康で健全な精神を培い共に励んで永遠の平和を希うのみである。

自然を愛し、機械文明、物質文明におぼれることなく、身体を鍛え、心豊かに、先祖や親を大事にし、兄弟仲良く、友達はお互いに信じあって、どんな困難があろうともこれに打ち勝つ強い意志を持って、明日をみつめて勉強して平和を築いて行かなければならないと思います。

めざせV3 日本一 南部支部親睦旅行



8月26日(日)南部支所旅行が行われました。行先は福岡ドーム、夏休み最後の日曜日に貸切バスで熱バの首位攻防戦を堪能しようという企画でありました。

前回の支部旅行は平成5年、谷川支部長の時に、小天温泉一泊と近場でありました。あれから8年ぶりということもあり多くの先生方の参加を期待していたのですが、家族連れで、(助っ人を入れて)21名とやや寂しいツアーとなりました。

さて、日曜の朝9時40分過ぎ、眠い目をこすりながら坪井の会館駐車場へ。「バリーグは知らんといね。ところでビールはなかつね」の蔵田先生のひとことで買いだしに走りだす鬼塚支部長、有田会計を尻目に、席は埋まっています。参加者全員そろったところで予定どおり10時出発。車中、本日利用のバス会社が友情参加された赤城先生と御縁があるとのことでもりあがりを見せました。

しかしながらバリーグは知らない蔵田先生、福岡ドームを初めて訪れる藤波先生の奥様というメンバーに囲まれ、バスは私の心と同じく曇天の中進んでいきます。

対戦相手のライオンズは前日、田之上の好投をカブレラの一発でしてやったりと思ったのもつかの間の幻、松中によるプロ初のサヨナラHRで勢いをそがれています。先発は故障あがりといえ好調若田部と不調の怪物松坂。これから先の展開を期待してビールはすすみ、腹はふくれるばかり。

ドーム到着後、ただちに弁当ばくつきながらゲーム前の練習をみます。藤波先生の奥様ビールごちそうさまでした。ちょうどライオンズの時で、垣内

が何本かレフトスタンドにほうりこんでるのを見て、やっぱ、当たれば飛ぶなアと感心。カブレラのスイング見れなかったのが残念。

試合の方は御存知の方も多かろうと思いますが、前日の田之上の好投を意識したのか若サマ今季一番と思われる好投で一点に抑え、完投こそのがしたものの、カブレラ、マクレーンのバットをへし折るなど、見せ場は充分。打線も井口がヒットを打てば、城島、秋山のHRもでて松坂攻略、とはいえ小久保、松中を完全に抑えるあたりさすが怪物。以外に小器用なんだねカブレラ。本当に足が速いのねリトル松井。5回表くらいにマクレーンがバットを折られながらもレフト前に運んだ飛球を背走また背走して逆シングルで好捕したショート鳥越。前節近鉄戦で併殺をあせて野選となったボカとこの美技との落差、ビールに浸ったせいでおぼろな記憶をたどっていますが、思わず立ちあがってスタンディングオベーションを送りました。いやー、ビールもチューハイもうまかったす。というわけで今年はドームは3度目でやっとな花火にありつけました。

楽しい休日をお世話してくれた鬼塚支部長、有田会計、ありがとうございました。

大いなるお礼の気持ちと共に次回に期待して筆をおきます。

(参加メンバー：富田一家、蔵田夫妻、細川一家、谷川、古川、鬼塚、有田、京極各先生、赤城夫人、藤波夫人、西濱一家)



(南部支部 古川猛士)

新人です!よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 岡本 豊
 診療所名 ながみねクリニック
 (診療所) 熊本市戸島町3333-1
 電話/096-331-2211 FAX/096-360-7103
 (自 宅) 菊池郡合志町幾久富1909-417-302
 電話/FAX 096-248-9146
 生年月日 昭和42年10月13日
 趣 味 スキー・パソコン
 好きな言葉 有言実行
 経 歴 平成4年3月 北大歯学部卒業
 札幌医大口腔外科勤務後、主に訪問診療医として従事して
 参りました。
 家 族 自分 妻(2人暮らし)



氏 名 大塚 昭彦
 診療所名 おおつか歯科医院
 (診療所) 熊本市麻生田2-1-1
 電話/096-215-8070 FAX/096-215-8071
 (自 宅) 熊本市御領3-6-25-301
 電話/FAX 096-388-7540
 生年月日 昭和42年4月30日
 趣 味 サッカー
 (中学～社会人とサッカーをしてました。
 現在はスカパーで毎日サッカーを見てます。)
 好きな言葉 不言実行
 経 歴 昭和61年 県立熊本高校卒業
 平成5年 鹿児島大学歯学部卒業
 平成5年～11年3月 同大学歯科補綴(Ⅱ)
 平成11年4月～13年3月 かどおか歯科医院に勤務
 平成13年6月 開院
 家 族 妻(教子)、娘(みなみ)



スポーツの広場



空港デンタル会

(お休みです)

熊本デンタル

平成13年4月22日

16名

	O	I	G	H	N
優勝 中島義和	38	39	77	7	70
2位 大嶋健一	40	42	82	10	72
3位 松本光示	38	39	77	5	72
4位 本田 亘	44	48	92	15	77
5位 小田和人	45	45	90	12	78
B.B 松本真典	45	50	95	10	85

トーナメントゴルフ会

平成13年4月

	O	I	G	H	N
優勝 大森秀則	41	44	85	21	64
2位 谷川貞男	40	46	86	10	76
3位 森 一	43	47	90	14	76
4位 河野敬明	45	46	91	15	76
5位 増田了	55	50	105	27	78
B.B 内田 隆	45	48	93	10	83

平成13年5月

	O	I	G	H	N
優勝 七川洋二	42	43	85	19	66
2位 井口泰治	40	42	82	11	71
3位 内田 隆	42	39	81	10	71
4位 河野敬明	44	43	87	15	72
5位 奈良健一	42	43	85	12	73
B.B 森 一	46	49	95	14	81

平成13年6月

	O	I	G	H	N
優勝 浜坂浩一郎	48	40	88	22	66
2位 木村 洋	41	51	92	18	74
3位 合沢康生	45	43	88	13	75
4位 古賀 明	46	41	87	12	75
5位 内田 隆	47	37	84	9	75
B.B 宮崎幸一	48	46	94	11	83

平成13年5月27日

18名

	O	I	G	H	N
優勝 齊藤 朗	46	40	86	18	68
2位 川崎俊明	43	40	83	11	72
3位 松本光示	43	38	81	5	76
4位 工藤隆弘	44	45	89	13	76
5位 本田 亘	44	47	91	15	76
B.B 松本真典	46	47	93	10	83

平成13年6月24日

16名

	O	I	G	H	N
優勝 工藤隆弘	41	43	84	13	71
2位 本田 亘	43	45	88	15	73
3位 甲斐利博	44	39	83	8	75
4位 大嶋健一	43	42	85	10	75
5位 三笥 司	44	43	87	12	75
B.B 中根俊吾	48	52	100	10	90

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
6月22日	154回理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)
7月24日	155回理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
5月23日	中岳113号校正・かわら版6月号編集
6月 1日	市歯70周年記念名簿校正
6月11日	中岳113号第2回校正
6月26日	中岳113号第3回校正
7月 6日	市歯70周年記念名簿最終校正
7月26日	かわら版7月号編集
	中岳113号反省
	かわら版7月号最終校正
	かわら版8月号編集

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
5月24日	レセプト再審査請求および取り下げ願について
6月28日	平成13年度集团的個別指導について
7月27日	近県社保担当者会議報告
	質問事項への解答検討
	スタディモデル検査記録の記載方法について
	暫間被覆冠および铸造バーについて

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
6月13日	6月23日ビアパーティー打ち合わせ
7月13日	出欠確認、料理の検討、ビンゴ景品、 生ビールの樽の本数、当日のタイムテーブル
	ビアパーティー反省
	入院入所者の集計
	入院入所者運営委員会
	健康診断の日程、当番割り当て

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
6月20日	歯磨き巡回指導について・HIV関係団体連絡会議
7月18日	歯磨き巡回指導の報告と反省

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
6月19日	学術Q&Aについて 生涯学習ビデオについての確認 学術講演会についての確認
7月19日	熊本市民への歯科に対する啓発事業について (検診事業を受診率アップにつなげるためには?) 学術Q&A回答方法と受け持ちの確認 生涯研修ビデオについて 所在の確認とダイジェスト作成の流れを決定 学術講演会講師へのあいさつの件 市民向け啓発事業について 地図データ書き換え済み、所在は資料待ち

公 衆 衛 生 委 員 会

月 日	協 議 題
5月30日 6月14日 7月12日 8月 7日	6月3日上通りイベント、6月9日母子コンクールについて 母と子のよい歯のコンクールイベント 来年度の歯の衛生週間について 市立幼稚園フッ素塗布、かみかみメニューコンクールについて

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
6月15日 7月11日	スタッフレベルアップセミナーについて 国立熊本病院開放型病院について 救急蘇生法講習会について 救急蘇生法マニュアルについて シテイFM出演について 緊急時窓口用電話連絡表について

定 款 見 直 し 委 員 会

月 日	協 議 題
5月29日 6月26日 7月26日	定款及び諸規則の見直し、チェック 同上 同上

～協同組合だより～

協同組合では下記のようにレセプト・カルテの他医院事務用品並びに各種商品を取り扱っていますので是非ご利用ください。

レセプト・カルテ・医院事務用品印刷販売のご案内

商 品 名	販売価格
(レセプト)	
コンピュータ用 100枚	450
手書き用(一般・50/100・老人) 100枚	300
単票 100枚	300
(カルテ)	
社保(本人)1・2号様式	250
社保(家族) 〃	250
国保 〃	250
(経理・検査諸書類)	
領収書 50枚	200
収支日計表 100枚	500
患者日計表 100枚	500
歯科経理帳 30枚	840
歯科予診録 100枚	330
歯周精密検査表 50組	650
歯科衛生士業務記録 50枚	170
紹介状 100枚	550
補綴物維持管理情報提供用紙 1,000枚	1,500
治療計画のお知らせ 100枚	380

その他の商品

パイプ/500円、アガリクス茸/16,000円、アクアドクターUF/19,800円、機能水生成装置/444,000円・リース可
 クリアベール/25,250円・36,750円・54,000円、リラックス/10,500円、エネルギーTシャツ/3,900円
 浄水生成装置/550,000円・リース可、ダイエットスリッパ/3,400円、プロボリス/24,000円/蛍光ランプ/11,000円
 カニバック/α 6,000円・88 α 9,000円・90 α 10,000円/高性能空気清浄機/月額リース18,500円
 フットマッサージャー/55,000円、オー・ナチュラル1,200円・15,000円、/バイオ式ゴミ処理機49,800円

上記商品のご用命及びお問い合わせは協同組合事務局(TEL343-6400)まで

技術と信頼がテーマです



DENTAL LABORATORY AISHI

株式 愛 歯
会社

〒860 熊本市大塚4丁目2番42号
Phone. 096-343-5839 Fax. 096-343-5105

編 集 後 記

夏のおもい出

友人のS先生家族と長島に海水浴に行きました。

私の子供達は海で大喜び、「お父さん、こっち、こっち」の声にポケットを探りもせず私も海の中へ。ひとしきり遊んだあとふと砂浜を見ると妻の驚いた顔。私が「どうかしたか?」「カギ(電子キー)、サイフは?」と妻。当然のごとく車は動かず、レッカー代は13万円とのこと。(この時点で午後2時をまわっていました)考えた末、鍵を取りに帰ることにしました。このあと私が自宅で寝ることができたのは午前4時のことでした。

長島から阿久根まで車で送っていただいたS先生に深く感謝します。

教訓：海に入る前はポケットの中に注意しましょう。

(M・F)

熊本市歯科医師会会誌

第 114 号

発行日 平成13年9月15日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者 関 剛 一

印刷所 株式会社 ハタノ

熊本市上熊本2丁目1-30

TEL096-356-6433 FAX096-311-1388